

注目のアスリートたち



ときがわ町スキー連盟
島田 愛弓 選手



今回の注目のアスリート1人目は、島田愛弓選手です。島田選手はときがわ町出身のスキーインストラクターで、全国で30名のみ選出される2022〜2023年度SAJデモンストレーターに認定されました。デモンストレーターとは、全日本スキー連盟等で認められたスキーを正しく指導するための高い技術を有する選手で、インストラクターのお手本となる存在です。今後の活躍が期待されます。

島田選手へ質問

- Q スキーを始めたきっかけを教えてください。
A 両親がスキーをしていたため、2歳からスキーをはじめました。
- Q スキーをしていて良かったと思うことはなんですか。
A たくさんの出会いがあることです。
- Q 試合前に必ずおこなっていることはありますか。
A 試合前に必ずおこなっていることはおこなっています。
- Q ルーティーンはありますか。
A はい、おこなっています。
- Q 好きな選手はいますか。
A 石田俊介選手です。人間性においてもスキーの技術においても尊敬しています。
- Q 石田俊介選手です。人間性においてもスキーの技術においても尊敬しています。
- ※石田選手はSAJデモンストレーターよりもさらに難関である、SAJジュニアル・デモンストレーターに選出されています。
- Q これからの目標を教えてください。
A SAJジュニアル・デモンストレーターになりたいです。



玉川中学校
小澤 由人 選手

玉川小学校
小澤 心太 選手



(左)兄・由人 (右)弟・心太

小澤由人選手へ質問

- Q ドッジボールを始めたきっかけを教えてください。
A 幼稚園の頃や小学校でやるドッジボールが楽しかったので、通える範囲でチームを探しました。
- Q ドッジボールをしていて良かったと思うことはなんですか。
A チームの仲間と全国大会に出場できたことです。
- Q 試合前に必ずおこなっていることはありますか。
A 普段通りに、冷静になることです。
- Q 好きな選手はいますか。
A お世話になった指導陣です。全国大会に参加できたこともあり、尊敬しています。
- Q これからの目標を教えてください。
A 中学で部活をしながら、ドッジボールはシニアチームで続けて、大会で優勝していきたいです。

小澤心太選手へ質問

- Q ドッジボールを始めたきっかけを教えてください。
A 兄について行って、楽しかったため、始めました。
- Q ドッジボールをしていて良かったと思うことはなんですか。
A ドッジボールがキャッチできています。
- Q 試合前に必ずおこなっていることはありますか。
A 緊張しないように大きな声を出すことです。
- Q 好きな選手はいますか。
A チームのOBの人たちです。日本代表のOBの人も来てくれ、みなさん優しいです。
- Q これからの目標を教えてください。
A 4年生までのジュニア大会でたくさん優勝したいです。

続いての注目のアスリートは、玉川中学校1年の小澤由人選手と玉川小学校4年の小澤心太選手の兄弟です。両選手は、川越市のスポーツ少年団であるドッジボールチームの月越ストームに所属しており、令和2年度北関東ドッジボール選手権大会に優勝し、全国大会へ出場を果たしました。今後のさらなる活躍が期待されています。

ときがわ町スポーツ協会誌

スポーツ ときがわ



第14回

ときがわ町ワンデーウォーク



5月2日(日)快晴のもと、「第14回ときがわ町ワンデーウォーク」が184名の方にご参加いただき開催されました。今年度は、コロナ禍の開催のため、感染リスクを最小限にする対策として、集団で歩く形ではなく、受付時間に幅を持たせて受付し、随時スタートする「スタンプラリー方式」で実施しました。

今回のコースは、体育センターを出発し、チェックポイントの弓立山山頂、大附日枝神社、大附中会館でスタンプを押して体育センターに戻る、総距離約12km、高低差約300mの歩きごたえのあるコースでした。このイベントでは、ときがわ

町スポーツ協力員の皆さんに運営面での協力をいただくとともに、スポーツ推進委員の皆さんにサポートウォーカーとして参加者の安全を見守っていただきました。

今回のコース図は町HPに掲載するとともに、せせらぎホール事務室でも配付しています。参加できなかった方も、コロナ太りの解消と気分転換を兼ねてチャレンジしてみてください。

※ウォーキングの際には、感染症対策と熱中症対策を必ずお願いします。

